

# AMITY QUARTET



バルトーク弦楽四重奏曲全曲演奏チクルス vol.1

アミティ・カルテット 弦楽四重奏リサイタル 2022  
尾池亜美・須山暢大・安達真理・山澤慧  
Ami Oike Nobuhiro Suyama Mari Adachi Kei Yamazawa

2022 SUNDAY

6/19

14:00 START 13:30 OPEN

会場：マリコンツェルト (東武東上線中板橋駅北口より徒歩3分)

バルトーク：弦楽四重奏曲 第1番 作品7 Sz.40  
Béla Bartók : String Quartet No. 1, Sz.40

ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ト短調 作品10  
Claude Debussy : Quatuor à cordes en sol mineur ほか

全席自由 一般 3,500円 / 学生 1,500円 (当日各500円増し)

- ご予約 Peatix <https://amity2022.peatix.com>
- お問い合わせ [asano@tokyo-concerts.co.jp](mailto:asano@tokyo-concerts.co.jp) (担当：東京コンサーツ浅野)



※やむを得ず、出演者・プログラムを変更する場合がございます。  
※体調に不安のある方はご来場をお控えください。マスクの着用や手洗い消毒等、感染予防対策にご協力ください。  
※今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、公演の中止や開催内容を変更させていただく場合があります。予めご了承ください。

制作協力：株式会社東京コンサーツ



10代でBartókの音楽に衝撃を受けて以来ずっと“大好き”と思い続けながらも、なぜ彼の作品が好きなのかを言語化出来ないまま無伴奏ソナタや協奏曲を愛奏してきました。昨年、弦楽四重奏曲全曲と真正面から向き合う機会を頂き、これは今こそ為すべきこととの確信を持ち、仲間がいる幸運を心よりありがたく思いながら計画を進めて参りました。

Bartókがライフワークとした各地の民謡の徹底的な調査と、それを自身の感覚、意識/無意識、全てに取り込んで発信する彼の姿勢そのものに、私は惹かれ続けているのではないかと思います。

20代から晩年までに書かれた弦楽四重奏曲全6曲。その変遷を辿り、異なる作曲家の作品と組み合わせながら魅力を紐解いて参ります。急がず、焦らず…是非全曲お付き合い頂けましたら幸いです！

Amity Quartet ヴァイオリン 尾池 亜美

**Amity Quartet (アミティ・カルテット)**：日本とヨーロッパで活動してきたメンバーにより2015年に結成、2016年より演奏活動を開始した弦楽四重奏団。これまでに鶴川ポブリホール、真駒内六花亭ホール、上野の森コンサート、浦安音楽ホール、トーキョーコンサーツ・ラボでの演奏会に出演したほか、毎年定期リサイタルを開催。2020年、アートにエールを！企画でベートーヴェンの弦楽四重奏曲第14番を動画作品として発表。2022年よりバルトーク・テクルスを開始。古典から現代まで弦楽四重奏の可能性に挑み続ける。

<https://www.facebook.com/AmityQuartet>



**尾池 亜美 (ヴァイオリン)**：東京藝術大学附属高校を経て、同大学を安宅賞、同声会賞、アカンサス賞を受賞し卒業。明治安田QOL文化財団、RMF奨学生として渡欧。ローザンヌ高等音楽院修士課程修了。英国王立北音楽院、グラーツ芸術大学にて研鑽を積む。

日本音楽コンクール、RNCMマンチェスター国際ヴァイオリンコンクール優勝、カール・フレッシュ国際コンクール第二位ほか受賞多数。

欧州、アジア各国でリサイタルを開催、国内外のオーケストラやアンサンブルと共演。2020年度より東京藝術大学講師。

Ensemble FOVE、紀尾井ホール室内管弦楽団、アミティ・カルテット、Zephyrusピアノ五重奏団メンバー。

[www.amioike.art](http://www.amioike.art)



**須山 暢大 (ヴァイオリン)**：都立芸術高校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。第1回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第2位。シオン・ヴァレ国際ヴァイオリンコンクール入賞。

ヴァイオリンをG・フェイギン、G・ブルー、S・アシュケナージ各氏に師事。これまでに、サイトウキネンオーケストラ、紀尾井シンフォニエッタ、赤穂・姫路国際音楽祭プレコンサート等多数出演。ソロ・ヴァイオリン、コンサートマスターを務めたCD「CHAMBER MUSIC PLAYERS OF TOKYO in 紀尾井ホール」がレコード芸術の特選盤に選ばれる(オクタヴィア・レコードより好評発売中)。

現在、大阪フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター。



**安達 真理 (ヴィオラ)**：東京を拠点に、ソリスト、室内楽奏者として幅広く活動するなか、2021年日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ客演首席奏者に就任。2018年発表の『Winterreise』に続いて、21年に『J.S.バッハ 組曲&パルティータ』、今年1月に『MY DEAR MARI ADACHI PLAYS FUMIO YASUDA』をリリース。

国内外で研鑽を積み、13年からはインスブルック交響楽団にて副首席奏者を2年間務めた。16年よりバーヴォ・ヤルヴィ氏率いるエストニア・フェスティバル管弦楽団に参加している。19年には熊本城ホール開業記念公演で坂本龍一、藤原真理の各氏とピアノ・トリオを演奏し、その模様はNHK-BSプレミアムで放送され話題となった。

<https://www.mariadachi.com>



**山澤 慧 (チェロ)**：古典作品の勉強を地道に重ねながら、現代音楽の演奏や作曲家への委嘱を積極的に行い、チェロの可能性を探索し続けている。2015年以降、20世紀以降に書かれた無伴奏チェロ曲のみを集めたリサイタルシリーズ「マインドツリー」を毎年開催。2020年からは同シリーズの一環として、J.S.バッハの無伴奏チェロ組曲をテーマに据えたプログラムを6ヶ年計画で展開している。2021年には新シリーズ「邦人作曲家による作品集」をスタートさせた。

音川健二、藤沢俊樹、河野文昭、西谷牧人、鈴木秀美、山崎伸子、M.Kasperの各氏に師事。

藝大フィルハーモニア管弦楽団首席チェロ奏者、千葉交響楽団契約首席チェロ奏者。

## ● 会場アクセス

- 〒173-0016 東京都板橋区中板橋18-11
- ・東武東上線中板橋駅北口より徒歩3分
- ・都営三田線板橋本町駅A3出口より徒歩13分
- ・中板橋駅入口バス停より徒歩5分
- 赤31(関東バス、国際興業バス)
- 赤31-2(国際興業バス)
- 王78(都営バス)

※専用の駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用になるか、公共交通機関でのご来場をお願い致します。

# AMITY QUARTET

